

上海華新が『2019 中日先進医療と新薬研究サミット』発行の 「イノベーションリーディング企業」賞を受賞

11月20日、益新集団副総裁兼上海華新生物高技術有限公司(以下、上海華新)CEO 董志超、益新集団副総裁兼上海華新董事梁非、益新集団 CTO 黄新凡らが上海華新を代表して、四川省成都市で行われた「2019 中日先進医療と新薬研究サミットおよび成果実業化大会」に参加した。中国全国政協副主席何維様、四川省省長尹力様、国家薬品監督管理局局長焦紅様、日本独立行政法人医薬品医療機器総合機構局長佐藤大作様、中国科学院院士、腫瘍治療と腫瘍免疫学専門家魏于全様がサミット開幕式に出席し挨拶をした。2018年ノーベル生理学・医学賞受賞者である本庶佑様教授もビデオで挨拶を行った。



上海華新が「イノベーションリーディング企業」を受賞

大会で医薬業界の優秀な会社を表彰した。上海華新が生物薬品の開発能力、イノベーションおよび製品の実業化において素晴らしい業績を収めたため、「イノベーションリーディング企業」賞を受賞した。上海華新は今回の大会および受賞を契機とし、より多くの新薬開発企業やイノベーションキャピタル企業と提携し、日本の力を借りながら、中国に根差して新しい生物製薬の開発プラットフォームの構築に努力したい。



上海華新の「イノベーションリーディング企業」賞状

今大会は日本神戸にある医療イノベーション推進センター (TRI) と中国四川省国際医学交流推進会の共催により、日中両国生物医薬産業の協力を推進し、先進医療技術の実業化を主旨として開催された。日本側から **400** に上る臨床研究段階の先進医療技術および生物医薬製品の展示、成果の実業化説明が行われた。中国側からも **500** 以上の先端技術を提出された。今回の大会は日中企業間のマッチングを促進し、より多くよりハイレベルの医薬品成果の実業化、ウインウイン関係の構築に大きな意義があった。

益新集団広報渉外チーム
2019年11月26日